

第14回政府現地対策本部会議・第17回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月23日(土) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

(別途気象台から報告)

2 被害の状況

死者48名(県警)。その他12名。計60名。

その他被害多数。(資料参照)

避難者数等は資料のとおり。避難者数7万人。熊本市4万人。

3 県等の対応状況

(環境生活部)

熊本市の災害ごみの収集について、昨日は2,000トン福岡市、広島市等の協力を受けて災害ごみの収集を行った。

(商工観光労働部)

本日、中国の程大使が表敬に来られ、義援金を出されている。

県施設の被害は別添資料のとおり。

(農林水産部)

山腹崩壊について、県下全体で230カ所に箇所数が増えた。うち、人家隣接地では継続して監視中。

農地の災害が明るみになってきた。阿蘇市、西原村等で大規模な地割れ等が発生している。

(土木部)

道路の通行止めについて、一番多い時は134カ所あったが、今、60ぐらいまでに減ってきた。

国土交通省はじめ、特に、建設業協会の皆様のご努力のおかげ。

(教育庁)

下線部が変更点。

(県警本部)

捜索の状況について、高野台団地は夜通しで行っているが、現在、雨のため中断している。阿蘇大橋については、国土交通省に無人の重機を提供していただいている。いずれも発見には至っていない。

この他、益城町で発生していた空き巣の被疑者を検挙している。

3 国等の対応状況

(内閣府)

いろいろ新たな事態が発生しているので、政府現地対策本部の機能を強化しながら引

き続き関係機関と連携しながら対応していきたい。

(緊急消防援助隊)

立野地区について、朝から下流側からの活動を行っていたが、15時55分から、上流からの活動を行っている。国土交通省さんのバックホーを使った分の活動。

高野台地区について、14時半の時点を持って、雨の状況をみて中断となっている。再開の見込みは未定。

救急搬送について、16時現在をもって、救急件数16件、搬送者20名。

(自衛隊)

記載のとおり、約26,000人態勢で活動している。

(警察庁)

県警本部の報告どおりの活動を行っている。

(国土交通省)

住宅の応急危険度判定について、判定士の大幅増員をもって進捗を図っている。

阿蘇大橋地区の土砂撤去について、熊本側からは、無人バックホー等により実施中、併せて、大分側からも土砂撤去に入るべく、本日より工事用進入路の設置作業を開始している。

砂防について、緊急度の高い危険箇所約1,100カ所に対して、土砂災害現地調査チームにより、昨日まで618カ所点検を完了している。

(海上保安庁)

引き続き、巡視船による給水、入浴支援の作業を行っている。

(气象台)

地震の状況については、引き続き活発な活動が続いているとみている。

天気については、明日は曇り、午前中中心に一時雨、雨量は、5ミリ～10ミリ。

(JR九州)

新幹線は、博多・熊本間は今日から開通。脱線した新幹線も本日で全てレールの上に乘せた。

在来線は、明日、早朝より肥薩線が開通する予定。

(西部ガス)

体制は、本日で人員4,477名になる予定。

復旧状況について、中圧は特に変更はない。

低圧は、本日、12時現在で13,356戸、復旧率13.2%。

カセットコンロの配布について、要望に応じた個別配布ということで、228台を配布した。

(LPガス協会)

安全確保のため、倒壊した家屋のボンベの回収を進めている。

5 国現地対策本部長の発言

(酒井政務官)

今日は、安倍総理が被災者の皆様をお見舞いされた。

まずは、南阿蘇村、その後、県庁で震災にあわれた首長と意見交換をされ、その後、

益城町に入られた。

その中で話が出るのが、これから住む所をどうしたらいいんだろう、ということだった。同行した我々もつらい思いであったけれども、皆様のご努力で少しずつ進んでいると理解している。

それから、総理からは、県、市町村それぞれ関係機関の皆様と一緒に密に連絡を取りながら、政府も一体となって進んでいくという言葉が皆さんにかけられていたので、ご報告申し上げます。

インフラ関係、物資関係も順調に進んでいると思っている。物資関係については、次の視点から順番にやっていかなければならないこともあろうかと思うので、皆様のご協力をお願いしたい。

南阿蘇に関しては、今後、時間もかかるし大変だと思う。

先ほど報告があったが、お亡くなりになった方で、震災の影響でお亡くなりになった方が増えて、今の状況が続くとだんだん増えていくのかなと思う。医療、環境、衛生の問題もきちんとやっていかないとけないことがたくさんあると思う。

避難所が増えていく、増えたところもきちんとチェックしながら是非とも対応していただきたい。

6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

連日の懸命な捜索、避難者の支援、おつかれさまです。

今回の地震により、60名の方の尊い命が失われた。謹んでご冥福をお祈りしたい。

現地におられる皆さんにおかれては、夜を徹しての捜索活動で疲労もピークに達しておられることと思う。本日は雨が降っておりますので、現地での捜索活動には万全の注意を払ってほしい。一刻も早い救助を心から願っている。

避難生活も丸一週間が過ぎた。何かと不便な生活の中で、被災者の方々は、疲れが相当に蓄積しておられると思う。

各避難所に、必要なものを確実にお届けするための態勢は整ったが、エコノミークラス症候群やノロウイルスの発生など、健康面、衛生面、さらには、心のやすらぎなどメンタル面のケアに注力してほしい。現場と本部の連携を一層密にしながら、生活支援に精一杯努めていただきたいと思います。

また、本日は、安倍首相に災害の最前線を視察していただいた。お会いした際に、自衛隊をはじめとする人命救助や、プッシュ型支援による水や食料などの物資供給など、政府の総力を結集した御尽力に対して、感謝の気持ちを直接お伝えしたところ。

本日は、九州新幹線博多～熊本間の運行再開という、嬉しいニュースがあった。また、災害ボランティアの皆さんが、続々と現地で支援活動を開始され、復旧・復興に向けた力強い一歩を踏み出したという実感も湧いてきた。

この歩みを停滞させないため、皆さんに一つお願いがある。現在、1日も早い復旧・復興に向けて、個人、国、県、市町村、民間企業などが、自らが被災しながらも、自分たちが果たすべき役割を精一杯果たしている。このような状況においては、お互いに助け合いの心を持つことが何よりも重要。

皆さんも相当お疲れのことと思うが、一日も早い復旧復興を目指して、お互いに励まし合い、「チームくまもと」として一緒に頑張っていきましょう。

(以 上)